

ふるさとの森を守れ!「松毛川千年の森」再生プロジェクト



特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島

〒411-0857 静岡県三島市芝本町6-2
TEL 055-983-0136
URL <http://www.gwmishima.jp/>



静岡県三島市と沼津市の市境に位置する「松毛川」(沼津市では「灰塚川」と呼ぶ)は、昭和初期の堤防工事によって三日月形の止水域となった総延長約1.3km、樹林と湖沼面積約6haの狩野川の旧河川敷であり、上・中流部には、樹齢100年以上の巨木を含む、数千本の樹木から構成される河畔林が自然堤防を形成しています。

しかし近年、水質汚濁の進行、治水機能の低下、ゴミの投棄、外来生物の侵入、河畔林の枯死・倒木、放置竹林の拡大、河川土羽の崩壊といった様々な環境被害の進行とともに、地域住民・所有者の高齢化による管理放棄が問題になっていました。

そこで本会では、2003年以来17年間にわたり、「松毛川千年の森づくり」として、総延長約2.4kmにわたる放置竹林の伐採、6,000本以上の植林、止水域全面に繁殖したホテイアオイの排除、2tトラック数百台分にも及ぶゴミの除去、三島市側に残る個人所有の私有地である貴重な河畔林のトラスト運動による買収など、地域協働による森づくり・自然環境再生保全活動に取り組んできました。

今後は、県営地域用水環境整備事業との連携による「ミチゲーション工事」の実施や、市内の水辺空間と松毛川を結ぶ「水と緑のネットワーク」の創出、環境再生活動の学校や企業の実習・研修の場としての活用、住民主体の維持管理組織の育成など、多様な森づくり活動を継続して、松毛川的环境資源を「生き物たちの楽園」「千年の森・ふるさとの森」として未来に継承していきます。



地域住民や行政によるゴミや産廃物の清掃



学生や地域住民による放置竹林の伐採作業



潜在自然植生の植樹(企業・住民との協働)



松毛川(灰塚川)空中写真(手前が狩野川)